



紙面のガーデニング
ラルク ハナミズキ

浦学だより

Vol. 95

☎ 336-0975

埼玉県さいたま市緑区代山172

☎ 048-878-2101 ☎ 048-878-3335

<http://www.uragaku.ac.jp/>

発行者 浦和学院高等学校広報課

編集者 浦和学院高等学校広報・企画局

URAWAGAKUIN HIGH SCHOOL

2016.6.1

28年度本校の指針



平成28年3月2日に「ライフスキル教育の浦学年次サミット2015」が開催されました。その中で28年度からの当校の教育目標を「21世紀型浦学教育として進めることが示されました。

将来の自分の人生を成功させるためには、社会生活における多くの問題や要求に対して、建設的に、かつ効果的に対処できる能力や技術が必要です。この技術がライフスキルであり、浦学はライフスキル教育を推進する学校です。生徒数の多い浦学は部活動も多く、多様性に触れるチャンスが多い学校です。多様な経験は、個々の感受性を高め、「自ら感じ、考え、行動することが出来る人間」の育成を推進することが可能となります。浦学は、国際的な交流や教育を通じて国際的多様性に触れる機会を促進しています。当校は国際的多様性に触れて、ライフスキル教育を促進する良い環境を育成してきました。

一般には、学習を通じてライフスキルを学ぶことが多いのですが、当校はライフスキル教育を通じて学習能力を高める環境の整備をはかり、学力の向上にも成功することを試みています。この答えはまだ出ていませんが、当校が目指す「常に前向き、そこに夢と希望のある明るく開けた学園」のイメージが、最近の生徒たちの活躍と笑顔から感じられるのは嬉しいことです。21世紀型浦学教育を簡略にまとめると右記のようになります。

21世紀型浦学教育とは

ライフスキル教育の浦学+国際教養の浦学+学習・進学の促進
＝無限の可能性（一人一人の想像以上の未来へ）

我々浦学人には21世紀型浦学教育の
成功にチャレンジすることが求められます。

学校法人明星学園理事長
浦和学院高等学校校長

小 沢 友紀雄

部活動

全国選抜
大会

大会報告



3年K組

松田 美咲（さいたま市立八王子中学校出身）

団体
3位

TENNIS
テニス
女子部

今回の全国選抜大会で、私達テニス部女子は27回目の出場となり、団体戦3位、個人戦ではベスト6となりました。個人戦では去年の準優勝に及ばず、とても悔しい結果となりました。しかし、団体戦では去年のベスト16を超えられることができ、チーム全体がより自信を持てたと思います。決勝まで行けず、とても悔しい思いが残りますが、それぞれが課題を新たに見つかったと思います。次のインターハイでは日本一を目指して頑張っていきたいです。そして、これまで応援して下さいました先生方や家族、友人には本当に感謝しています。みなさん、是非今後とも応援よろしくお願いします。



3年K組

高野 颯太（府中市立府中第四中学校出身）

HAND
BALL
ハンドボール
男子部

ベスト
8

私達ハンドボール部は、3月24日から兵庫県で行われた全国選抜大会に出場し、結果はベスト8となりました。2月に行われた関東大会での準決勝敗戦をバネにし、全国選抜上位進出を目指し練習に励んできました。初戦から接戦でしたが、粘る事ができ、準々決勝まで進むことができました。準々決勝では互いに譲らず、一度はリードするも惜しくも1点差で敗れてしまいました。悔しい結果ではありますが、次に気持ちを切り替え、夏のインターハイでは全国優勝できるように日々努力します。また、日頃から応援やサポートをしてくれる方達への感謝の気持ちを忘れずに、これからも精一杯頑張ります。これからも応援よろしくお願いします。



POWER
LIFTING
パワーリフティング
部

3年H組

村上 翔太（越谷市立東中学校出身）

個人
優勝

私達パワーリフティング部は、3月27日に行われた全国大会に出場することができました。しかし、私は、この大会の前のノーギア大会に向けて調整していたので、全国大会に向けての調整がうまくできませんでした。その状況のなか、なんとかコンディションを合わせていき、私は個人戦で優勝することが出来ました。他にも5人の部員が入賞しました。今年の夏の全国大会では、1位をとることを目標にずっと頑張ってきたので、絶対に1位をとりたいです。そして、6月にはアメリカでノーギアの世界大会があるので、そこに照準を合わせ記録を伸ばしていきたいです。みなさん、これからも応援よろしくお願いします。

部活動大会報告



3年G組

森田 智瑛 (熊谷市立江南中学校出身)

私達SPLASHは、2月にアメリカのフロリダ州オーランドで行われた「NDA National Champion Ship 2016」に出場しました。本場アメリカの大会は、国を越えての応援が会場を一体化し、さらにSPLASHへの暖かい声援を受けて、最高に楽しく演技をする事が出来ました。目標としていた結果には及びませんでしたが、メンバー一人ひとりが新たな目標を立てる事が出来る有意義な大会となりました。また、日本の大会では学びきれない豊かな表現力や、人と人とのコミュニケーション力の高さを感じる事も出来ました。応援して下さい先生方、心身共に支えて下さった家族、そして踊る事の楽しさを教えて下さったコーチへの感謝の気持ちを忘れず、さらなる向上心を胸に頑張っていきたいと思いました。



平成27年度入試を振り返って

進路指導部長 高橋 広和

「頑張った」

昨年度の入試について、一言で表すとすればこの言葉が最も適当であろう。今の浦和学院の勢いを感じさせるような結果を、この春卒業していった生徒たちは残してくれた。実績を出すことのできた主な理由の1つが、一般入試での成果である。

近年「一般入試」は、一般的な入試方式ではなくなっている。推薦入試やAO入試などのいわゆる「特別入試」のほうがむしろ一般的な入試方式になっているのが現状で、本校でも一般入試希望者よりも特別入試希望者のほうが圧倒的に多い。一定の条件を満たせば、一般入試に比べて倍率が低く、入試科目の負担も少ない。その上、早期に結果が出る特別入試は確かに魅力的である。しかし、特別入試は、基本的に1校のみの出願となるため、安全志向になりやすい。

高校卒業後の進路は、その後の人生を左右する大きな決断である。だからこそ受験は、精神的に強くなり、人間的にも大きく成長できる重要なチャンスである。特別入試で受験することが悪いという訳ではない。一般入試であろうが、特別入試であろうが、人生における重要な岐路に立ったとき、安全な道を選ぶのか挑戦する道を選ぶのか、この経験の違いは大きいということである。今春卒業した生徒たちは、果敢にチャレンジした結果、素晴らしい実績を残すことができた。在校生諸君は、この先輩たちの努力に負けることなく、高い志を持って、受験という人生における大きな壁を乗り越えてほしい。



早稲田大学社会科学部

A.O入試

グローバルコース

山口 春菜

(越谷市立千間台中学校出身)

私が早稲田大学への進学を考え始めたのは留学前からでした。その為、帰国直後からある学部の入試に向けてTOEICや小論文の対策に積極的に取り組みました。結果、その学部は不合格でしたが、その悔しさと、学習でついた確かな英語力と文章力は今回の合格に繋がったと思います。

これらに加えて大切だったことは、自分の考えを自分の言葉で伝える練習です。高校生活で何をしたら、この先何をするかをまとめることは、書類や面接の内容を良くする上で大切です。自信にも繋がります。先生方との面接練習でも焦らず集中し、本番には絶対的な自信をもって挑むことが出来ました。

私は不合格を通じこれらを学び、今回の入試で活かすことができました。AO入試は多くの人にとって一度限りだと思います。皆さんには、是非そのチャンスを掴んでほしいです。



上智大学法学部

公募推薦

グローバルコース

増 淵 凧 沙

(八潮市立八幡中学校出身)

私はカナダの留学経験を活かし、上智大学の公募推薦を受験しました。高校1年次にグローバル生全員で、この大学を見学し、非常に魅力的に感じたのが第一印象でした。この法学部を受けるにあたって、難しいのではないかと意見もありましたが、浦和学院の優しい先生方がいつも私をサポートしてくれました。まず、私がしていた事は知らない先生にも面接練習をお願いしていました。試験内容は小論文と面接でしたが、事前に先生達と練習や予想を重ねたことで、本番では緊張もせず十分に挑むことが出来ました。その為どんな内容にも柔軟に返答することができました。受験をするにあたって必要なのは、自分の行きたい志望校を早めに決定して対策をたてておく事だと思います。かつ体調管理をしっかりすることで万全な体制で挑めると思います。これから受験を迎える皆さん、是非最後まであきらめずに頑張ってください。



武蔵野美術大学造形学部

公募推薦

アートコース

荒 木 加 奈 子

(さいたま市立春野中学校出身)

私は、アートコースでの授業や、美術部で制作した作品を活かしたかったため、公募推薦入試を利用して大学を受験しました。まず、1次試験には自分のポートフォリオ(作品集)と推薦文が必要でした。

私は授業や予備校で制作した作品の他に、アイデアスケッチやドローイング、部活動で描いたドローイング、クロッキーなどを入れて全40ページのポートフォリオを作りました。これは、1年次から手を抜くことなく制作した成果だと思います。2次試験では、作品についてのプレゼンテーションでしたが、しっかりと考えをまとめたため、楽しく話すことができました。

美術系の大学の推薦入試は、自分の絵についてしっかり考え、理解することが大切だと思います。後輩の皆さん、目標を高く持ち、後悔しないよう頑張ってください。



法政大学情報科学部

指定校推薦

文理選抜コース

五 関 光 広

(草加市立花栗中学校出身)

私は、3年生になるまでは行きたい大学ややりたいことが漠然としか決まっていなかった。しかし、担任の先生の勧めもあり、法政大学のオープンキャンパスに行きました。それから、法政大学を指定校推薦で受験したいと思うようになりました。しかし、最初は偏差値のことや自分なかが行けるのか、など沢山の悩みがありました。しかし、先生や友達から励まされ自信を持つことができました。それから先生や友達と面接練習を重ね、無事に合格することができました。先生方や友達には感謝してもきれません。

そして、私が受験を通して一番大切だったことは、自分に自信を持つこと、志望する大学を決めた自分には何が出来るかを把握することです。これから受験を控えている後輩の皆さん、自信を持って精一杯進路活動に取り組んで下さい。



青山学院大学法学部

指定校推薦

文理選抜コース

植 村 栄 由

(川口市立戸塚西中学校出身)

私は中学生の頃は、勉強や部活などであまり良い成績を残せませんでした。その為、高校生活では何かを成し遂げようと思っていました。

まず、毎日の授業をしっかり受け、定期テストなども真剣に取り組みました。また、英語検定や、漢字検定などの資格取得にも力を入れました。私は部活動も入っていたので、勉強と部活動の両立が大変でした。しかし、友人の助けや、先生方のご指導のおかげでやり抜くことが出来ました。本当に感謝しています。

私は高校3年間で、毎日の積み重ねの大切さや、助けてくれた人達への感謝の気持ちなど、いろいろな事を学びました。これから受験を迎える皆さんも、自分の目標に向かって進路活動を頑張ってください。そして、充実した高校生活を送ってほしいです。



防衛大学校人文社会学部

自己推薦

文理進学コース

加 藤 朋 也

(川口市立戸塚西中学校出身)

私は、3年間野球部に所属していたため、現役選手として活動している間は大学受験に向けて勉強することは一切ありませんでした。その中で防衛大学校へ受験することを確実に決めたのは、引退してすぐの7月の中旬でした。志望理由は、この大学へ行くことによって家族へ恩返し出来ると思ったからです。3年間野球漬けだった私には勉強する時間があるよりも短かったのですが、入試までの2ヶ月間を勉強に置き換え、中学生の範囲から徹底的にやりました。しかし、一日中勉強することはとても辛いもので何度も自分に負けそうになることがありました。そんな時に無謀とも言えた私の挑戦に本気で応援して下さい先生方やクラスみんながいて、頑張る事が出来ました。本当に感謝しています。これから受験するみなさんも、自分がどうしたいかの信念を貫き、苦しい時は家族や友達を大きな武器として精一杯頑張ってください。

平成27年度

現役生 受験結果 (合格者延べ数)

第36期
卒業生 763名

国公立大学	
茨城大	2
宇都宮大	1
横浜市立大	1
釧路公立大	4
群馬県立女子大	1
埼玉大	1
山形大	1
山梨県立大	1
信州大	1
新潟県立大	1
福知山公立大	2
青森公立大	1
都留文科大	1
東京学芸大	1
北見工業大	1
水産大学校	1
防衛大学校	1
職業能開大学校	4
国公立大学 小計	26

私立大学	
青山学院大	4
亜細亜大	10
跡見学園女子大	16
浦和大	1
江戸川大	3
大妻女子大	5
桜美林大	1
嘉悦大	5
学習院大	1
神奈川大	2
亀田医療大	1
川村学園女子大	1
関西大	1
関西学院大	1
関西外語大	1
神田外語大	2
北里大	1
共栄大	8
共立女子大	6
杏林大	1
金城大	1
恵泉学園大	2
工学院大	6
国学院大	14
国際医療福祉大	1
国際武道大	2
国土館大	36
駒澤大	9
埼玉医大	3

私立大学	
埼玉学園大	5
埼玉工業大	4
産業能率大	2
実践女子大	3
芝浦工業大	4
十文字学園女子大	9
淑徳大	9
順天堂大	1
尚美学園大	14
女子栄養大	3
女子美術大	5
湘南工科大	1
昭和女子大	1
上智大	2
上武大	2
城西大	17
城西国際大	15
白百合女子大	2
駿河台大	6
成蹊大	3
成城大	4
清泉女子大	3
聖学院大	7
聖徳大	9
西武文理大	8
専修大	12
洗足学園音大	1
創価大	4
大正大	3
大東文化大	31
高千穂大	1
宝塚大	3
拓殖大	9
玉川大	4
多摩美術大	2
千葉工業大	10
中央大	4
中央学院大	3
津田塾大	1
帝京大	57
帝京科学大	9
帝京平成大	16
デジタルハリウッド大	3
東海大	3
東京有明医療大	2
東京医療保健大	1
東京家政大	1
東京家政学院大	4
東京経済大	3
東京工科大	11

私立大学	
東京工芸大	1
東京国際大	28
東京成徳大	6
東京造形大	2
東京電機大	7
東京都市大	4
東京農業大	3
東京福祉大	4
東京未来大	2
東京理科大	3
東都医療大	2
東邦大	3
東洋大	32
東洋英和女学院大	1
東洋学園大	3
獨協大	11
二松学舎大	1
日本大	32
日本医療科学大	1
日本工業大	9
日本女子体育大	1
日本文化大	1
日本保健医療大	1
人間総合科学大	6
白鷗大	1
藤女子大	1
文化学園大	4
文教大	11
文京学院大	5
平成国際大	2
法政大	17
武蔵大	3
武蔵野大	4
武蔵野美術大	5
明海大	3
明星大	4
明治大	2
明治学院大	3
目白大	9
ものづくり大	3
山梨学院大	2
横浜美大	1
立教大	9
立正大	14
流通経済大	11
了徳寺大	5
麗澤大	3
早稲田大	2
和洋女子大	1
私立大 小計	771

短期大学	
青山学院女子短大	7
秋草学園短大	1
上野学園短大	1
浦和大短大	2
大妻女子短大	4
川口短大	3
国際学院埼玉短大	1
駒沢女子短大	1
埼玉医大短大	1
埼玉純真短大	1
埼玉女子短大	2
埼玉東明短大	1
実践女子短大	1
淑徳短大	5
女子栄養短大	2
星美学園短大	6
戸板女子短大	9
東京女子体育短大	1
東京成徳短大	2
東京農大短大	1
東京立正短大	1
帝京短大	3
新渡戸文化短大	1
目白大短大	2
短期大学 小計	59

看護・医療系専門学校	
さいたま市立高等看護	3
さいたま赤十字専門	1
戸田中央看護専門	3
呉竹柔整専門	1
晃陽看護栄養専門	1
慈恵看護専門	2
春日部市立看護専門	1
聖和看護専門	1
医学アカデミー	1
川口市立看護専門	2
帝京高等看護学院	2
東京歯科衛生士専門	2
日本大学歯学部付属専門	2
日本医科大学学校	1
博慈会高等看護専門	1
北里大学看護専門	3
了徳寺学園医療専門	1
大宮歯科衛生士専門	1
医療系専門学校 小計	29

専門学校	
ESPミュージカルアカデミー	1
デジタルアーツ東京専門	3
ビジョナリーアーツ専門	2
ホンダテクニカルカレッジ	1
レイクランド大学日本校	1
越谷保育専門	1
華調理製菓専門	1
国際航空専門	1
埼玉自動車大学校	4
山野美容専門	2
駿台外語&ビジネス専門	1
織田きもの専門	2
西武文理大調理師専門	1
早稲田美容専門	4
大宮ビューティーアート専門	1
大宮こども専門	1
大原専門	4
東京IT会計法律専門	1
東京ウェディング専門	1
東京コミュニケーションアート	5
東京スクールオブミュージック	2
東京リゾート&スポーツ専門	1
東京クリエイションスポーツ専門	1
東京医療秘書福祉専門	1
東京観光専門	1
東京自動車大学校	1
東放学園専門	2
東洋美術学校	1
日本菓子専門	1
日本自動車大学校	1
武蔵野栄養専門	1
専門学校 小計	51

平成28年3月31日現在

大学・短大
現役合格率
87.3%

区分	進学数	現役合格率
国公立大学	26名	80.2%
私立大学	606名	
短期大学	56名	7.1%
大学・短大 計	688名	87.3%
専門学校	75名	9.5%
総 計	763名	96.8%

※上記は、大学・短大合格者のうち、入学辞退した進学準備者を含んだ人数。

大学合格者体験記

埼玉大学教育学部
一般入試リーダーズコース
吉井 真 麻
(川口市立戸塚中学校出身)

私は、一年の頃から国公立大学への進学を志望していましたが、具体的な志望校が決まったのは3年の春頃でした。それからは夜遅くまで解放されている自習室をほとんど毎日活用しました。模試の結果が悪いときは、やはり挫折しそうになったり、勉強が嫌になる時もありました。しかし浦学の整った学習環境があったので、私は塾に行くこともなく国公立入試に必要な5教科の勉強を進め、第一志望にたどり着くことが出来ました。

また、私は、センター試験直前は不安になってしまい勉強が手につかない日々が続いたこともありましたが、そんな私でも合格出来たのはそれまでの積み重ねがあったからです。一生懸命やってきたことに無駄なことは一つもありません。頑張れば頑張るほど自分の自信に繋がります。皆さんが今出来ることを一つ一つやり遂げ、目標に向かって進んでいけるよう応援しています。

水産大学校水産流通経営学科
一般入試プログレスコース
飯田 陸 斗
(川口市立安行中学校出身)

私が高校生活のなかで一番力を入れたのは勉強でしたが、普段の定期テストなどで他の人より多く勉強したつもりはありませんでした。それでも、普段の授業では板書をノートにとるだけでなく、先生が言ったことをメモしたり、小テストを振り返るなど日常的に要点をチェックしていました。そこで大事になってくことは、苦手分野を作らないことと、仮にあったとしてもどうにか克服することです。また、誰よりも得意な科目を作る事も大きな武器となります。

受験が近づくと、過去問題を解き始めるとありますが、無理して多くの問題を解くのではなく、焦らずに分らない問題を一つ一つ克服していきましょう。そして、どうしても分からない時は、先生に聞けば教えてくれるはず。何よりも、自分に合った勉強方法を見つける事が、受験成功のカギになっていきます。後輩の皆さん、日々の努力を怠らず、後悔することが決まらないように頑張ってください。応援しています。

成城大学文芸学部
一般入試文理選抜コース
平田 桃 子
(吉川市立中央中学校出身)

私は一年生の時から担任の先生との面談を重ね、自分の力で上のレベルの大学を目指したいと考え、早い時期に一般入試で受験する気持ちを固めました。

1年生の内から受験を意識していたので、学校で開講されている講座を受講したり、予備校を選ぶ際に相談にのってもらったりと、余裕を持って受験の準備をすることができました。初めての大学受験は不安だらけでしたが、生活面の指導もして頂いていたので、当日体調を崩すことなく万全の状態で行くことができました。

精神的に辛くて何度も受験を辞めたくりましたが、自分のことを信頼し協力してくれる親や先生への存在に支えられました。不安なことは周りの大人に相談することが大切だと思います。後輩の皆さんも、最後まであきらめずに自分を信じて頑張ってください。

国学院大学経済学部
A.O入試総合進学コース
大 滝 由 人
(八潮市立八幡中学校出身)

私は、高校3年生まで指定校推薦制度を利用した大学受験を考えていました。しかし、志望校に対する評定が足りず、悩んでいる時に担任の先生からK-ENT3入試を薦められました。この入試は、夏休みに4日間授業を受け、その内容をテストし60点以上を取ることで受験資格が与えられます。そして、2学期に入ってから志望理由書を担任の先生に添削してもらい、繰り返し書き直しました。また、多くの先生方や友人に面接練習をお願いしました。そのお陰で、面接本番では練習の成果を発揮することが出来、合格を決めることができました。

私は、周りの人達への感謝の気持ちでいっぱい。これから受験を迎える皆さんは、大学で何を学びたいのか明確にすること、目標を実現する為の準備を計画的にしたいです。そして、最後まであきらめずに頑張ってください。



進学類型

3年X組 柴田 菜実
(さいたま市立大谷中学校出身)

初めての海外、そして初めてファームステイをしてみても、とても良い経験ができたと思います。

最初は飛行機に乗るのも不安で、なかなか寝ることも出来ませんでした。でも、朝になって窓から見た景色は今でも忘れられません。自分が雲より上にいるその景色がとても不思議で、すごくきれいだったからです。そしてシドニーに着いて、書いてある文字も全て英語で検査の時などすごく怖かったのを覚えています。これからやっていけるのか、とても不安な気持ちでいっぱいでした。

でも、それからホストファミリーに会って、ママもパパもとても優しい方で安心しました。何を話しているのか聞き取るのも大変でしたが、そこから自分も何か伝えたいと思って、知っている単語、熟語を使って話しました。それが出来たときは、本当にうれしかったです。そして、ママの作ったご飯やおやつがとてもおいしかったです。とても料理好きで、上手な方でした。そして、色んな体験もさせていただきました。敷地内をドライブしてカンガルーを見たり、カヌーをしたり、山に登って絶景を見たりとどれもすごく良い思い出になりました。特に印象に残っているのは、夜に見た星空です。埼玉では見られないようなすごい景色でした。流れ星や流星群、天の川まで見られて、すごく良い体験が出来ました。

ファームステイは3日間というとても短い期間でしたが、とても濃い時間を過ごすことができました。

オーストラリアでの修学旅行は、毎日がとても楽しく、すごく充実した1週間になりました。そして、自分自身もっと英語を学びたいと思いました。

修学旅行

From JAPAN



特進類型

3年C組 鳥海 万喜
(川口市立戸塚西中学校出身)

今回の修学旅行は楽しみである反面、初対面の人達と慣れない環境と一緒に暮らしていくことに不安を感じていました。「ホストファミリーとコミュニケーションを積極的にとる」といっても最初は何を話せばいいかわからず、沈黙が続いてしまったりしました。しかし、難しく考えずに思ったことやその日あった出来事を話したら、しっかりと会話が成り立っていて、「英語でコミュニケーションをとる」ということは自分が考えていたほど難しいことではないと思えました。そして、今の自分の英語力でも会話が出来るということを知ることができて嬉しかったです。また、ホストファミリーとの生活では、シャワーの時間は1人3~4分というルールがありましたが、日本とオーストラリアの環境の違いを事前学習で理解していたので、すんなりと受け入れることができました。最初は不安でしたが、ホストファミリーはとても優しく、4泊5日間のホームステイはあっという間に過ぎ、楽しく過ごすことができました。

ホームステイ後のゴールドコースト、シドニーでの班別自主研修ではいろいろな所を回り、楽しむことができました。また、私達に分からないことがあり、戸惑っていると、すぐにそれに気がついて、教えてくれたりとオーストラリアの人達はとても親切な人ばかりでした。また、学校での遠足で行った動物園では、コアラを抱っこしたり、カンガルーにえさをあげたり貴重な体験をすることができました。

私は今回、オーストラリアの魅力だけでなく、日本にいと気づかない日本の良さがわかりました。そして、1週間という短い期間で、たくさんのことを学び、得ることができました。たくさんの人達とコミュニケーションをとり、自分の自信にも繋がりました。お互いを理解し合うことは、コミュニケーションをとる上でとても大切であることがわかりました。この修学旅行で、たくさんの経験をすることができ、これからの自分に役立たせたいと思います。

語学研修

Language Training

2年U組 蕪木 希莉子 (さいたま市立土呂中学校出身)



今回の語学研修で学んだことは主に2つあります。

1つは、相手のことをしっかり理解するためにはコミュニケーションをとることが最も大切だということです。英語しか伝わらない語学研修で、日本語を使うことはもちろんできません。しかし、自分の知っている範囲の英単語を使うだけでも、案外自分の言いたいことや思っていることは伝わりました。

もう1つは、英語を聞きとろうとする気持ちが大切だということです。今までは、自分の分からない文法や単語が出てくると、「自分じゃ絶対理解できない英語だ。」とあきらめてしまいがちでしたが、「もしかしたらわかる部分があるかもしれないから、出来る所まではがんばって聞きとってみよう。」とモチベーションを変えるだけで、ネイティブの先生が私たちに何を伝えたいのか、なんとなくですが理解することができました。

今回学んだ2つのことは、英会話の授業や語学研修だけではなく、普段の生活でも活かせることだと思います。友達としっかりコミュニケーションをとることを大切に、人の話をしっかり聞ける様にしたいです。

卒業記念講演

佐野 有美氏



27年度は、佐野有美さんを講師にお招きし、卒業生に向けて「将来の夢」というテーマでお話しいただきました。講師の佐野さんは、生まれつき先天性四肢欠損症で、短い左足と3本の指のみで幼い頃から生活をされています。高校時代にはチアリーディング部に所属し、「車椅子のチアリーダー」として話題となりました。その後もCDデビューをするなど、歌手活動や講演会など常に前向きで積極的に活動されています。

今回は佐野さんの日常生活のお話や高校時代のエピソードなども含め楽しくお話しいただきました。佐野さんは、今でこそ明るく前向きに活動なさっていますが、悩んだり苦しむことがあり、そんな時に高校時代の恩師から「どんなに願っても手足は生えてこない。でも、有美には口がある、声がある。自分の意見をしっかり伝えて、有美は有美らしく生きていけばいい!」という言葉がきっかけに前向きに生きていこうと思われたそうです。

佐野さんの人柄と沢山の素敵な言葉で、いつの間にか体育館も笑顔があふれていました。そして、今回なんと佐野さんが大切にされている「ありがとう」「笑顔」「支え合い」「絆」の4つの言葉を左足の3本の指を使い、色紙に描いていただき、本校にプレゼントしていただきました。佐野さん本当に有難うございました。卒業生の皆さん、佐野さんのお話にもあったように、これから様々な逆境に負けずにどんな時も自分を信じてあきらめずに夢を追いかけて下さい。応援しています!

NEXU
International & Soccer Dormitory国際・サッカー寮
「ネクス」完成!

3月30日、国際・サッカー寮NEXU「ネクス」が完成しました。学校北側(浦和美園地区開発地方面)の玄関口として、東北自動車道・国道122号線に面した地の利を活かした施設となりました。部活動としても、国際的スポーツであるサッカーで、JFA公認S級ライセンスを持つ森山氏を平成26年より監督招聘し、強化に着手しています。ネクス3階のコンベンションホールからは、高校サッカー選手権大会決勝戦会場の「埼玉スタジアム」を眼下に望むことができ、生徒たちも目標を間近に捉えることができます。

サッカー寮は定員46名。国際寮はシングルルーム20室、20名定員。この施設は、単なる宿泊施設のみならず、国際教養を身につける教育の場として、さまざまな分野で生徒・教職員が研修施設として利用していくものです。

愛称「ネクス」は生徒・教職員の応募から選考・決定し、企画・広報局でデザインロゴ化しました。ラテン語で「繋がり」を意味しており、国際関係を繋ぐ、サッカーチームの仲を繋ぐなど、ぴったりのネーミングになりました。

3年A組 森 天音 (川口市立神根中学校出身)